

臨床研究

「分子標的薬（スニチニブ、ソラフェニブ）投与による臓器萎縮の画像定量的評価」 について

筑波大学附属病院放射線 IVR 科と、当腎泌尿器外科共同で、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2011 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までに当院でスニチニブ、ソラフェニブ治療を受けた腎臓疾患の患者 13 名を選択。

コントロール群として、2011 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日までに当院で診察を受け、分子標的薬治療を行っていない腎臓癌の患者 15 名を抽出。

② 研究の意義・目的・方法

ソラフェニブおよびスニチニブにより腫瘍とは直接関係のない臓器が萎縮したりする事象について、現時点では甲状腺ではよく知られているが、そのほかの臓器に関しては十分明らかにされていない。この臓器萎縮が薬剤投与開始後発生する時期についても報告は少ない。本研究成果は、分子標的薬治療中の患者の経過観察において画像診断上の新たな注意点を喚起するという点で重要な意味がある。

本研究においては分子標的薬使用にともなう臓器萎縮の定量的評価を、通常の CT 検査に用いられて行う。従来用いている装置・手技にて行うため、新たな薬剤の投与や被曝線量の増加などはない。

主要評価項目としては、甲状腺、膵臓、脾臓の萎縮の定量評価および統計的意差検定を行う。

③ 研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院 放射線診断 IVR 科 高橋宏彰、那須克宏、南 学
腎泌尿器外科 小島崇宏、西山博之

④ 保有する個人情報に関する利用目的

CT 検査の結果を用いて、甲状腺、膵臓、脾臓の萎縮の定量評価および統計的有意差検定を行う。その際、年齢、性別、薬剤投与量を統計データとして利用するが、患者個人の識別に関してはデータの匿名化を行う。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

⑥の連絡先に連絡いただければ開示いたします。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：放射線診断 IVR 科 那須克宏 講師

電話・FAX：029-853-3205